

堺シルバーアドバイザー連絡協議会15年のあゆみ

1 泉北支部の誕生

シルバーアドバイザー第1期ならびに第2期の泉州地域に居住する受講者有志が、植木先輩（2期地活）を中心にボランティア・グループ「シルバー交流会」を結成して、当会が誕生した。平成元年（1989年）8月のことである。

発足のときは、「泉北・泉南」両地区居住者で構成され、活動地域が広範囲にわり、泉北地区（堺・和泉・高石・泉大津・忠岡）居住者が、「府立泉南特別養護老人ホーム」に出向いて、活動していた。平成3年6月泉北地区居住者は泉北支部を組織し、泉南地区居住者は泉南支部

を各々組織した。以後「泉北」と「泉南」二つの支部に分かれた経緯がある。何れの支部に所属するかは、会員の意向に委ねられ、泉北支部会員で岸和田市在住者がおられた例もある。

この結果、泉北支部会員は、地元の特別養護老人ホーム「美樹の園」での活動が、中心になったようである。

注：現在も一部会員には「泉北地区居住者がS A泉州」に、「泉州地区居住者が堺S Aに」在籍しているケースがある。

2 体制固めと試行錯誤（設立～平成11年頃）

グループの立上げは、先輩の手記を見ると、「国際花と緑の博覧会」参加の体験から、高齢者を弱者として扱って欲しくない。地域活動するには限界があるが、グループ作りをして頑張れば、社会に役立つ仕事は多くある」という意識向上からと記されている。

泉北支部設立当初において、堺市内の特別養護老人ホーム「美樹の園」における活動が始まり、最近まで継続していた。更に、堺市老人連合会役員として、泉北支部から毎年2名の会員が送り込まれている。その他「研修会の開催」「社会資源の見学」「会員の活動発表」「情報の交換」「会員の連絡網の整備」等について試行錯誤が行われた。

赤い羽根共同募金街頭活動の始まりが明確

でないが、平成9年には行われた記録がある。現在も受け継がれて、毎年10月に堺東駅前前で実施され、堺市社会福祉協議会からも評価されてきた。また、おもちゃ作りも行われていた。

この時期の纏めとも言える当会にとっての大きな転換が行われた、すなわち、当泉北支部は平成11年11月堺市社会福祉協議会にボランティア会員登録を果たした。これにより、安定して幹事会・定例会・総会等の開催には、福祉会館内施設の利用が可能になり、合わせて、社会福祉協議会からのボランティア活動情報の入手が容易になり、活動の推進に弾みがつくことになった。

それまでは、堺市鳳にあった「泉北府民センター」を利用していた。

3 本格活動開始（平成12年頃～現在）

平成12年4月定例総会において、会の名称を「大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会泉北支部」から「堺シルバーアドバイザー連絡協議会（略称 堺S A）」に改称した。当会では、現在会員51名中8名が9期までの方々と、矍鑠（かくしゃく）として活動されている。因みに、当会では最も古い、2期の方が在籍してお

られ、諸々の相談に乗って戴いている。

各会員は、個人、グループ、団体、同期会等30以上の活動拠点を持っている。当会は、これらの情報とネットワークを集約して、ボランティア活動の連帯と研鑽を図っている。活動の活性化が、当会の知名度の向上に寄与している。

堺市との関係

介護保険の実施に先立ち、堺市介護保険課に講師の派遣を要請、勉強会を実施した。これが堺市関係部局との交流の端緒を開いたものと思われる。堺市元幹部職員であった当会先輩会員（故岡崎晴夫氏—3期地活）の口利きによる成果であった。

このことが契機になって、高齢福祉課の認知を得た。堺市から、はじめて「さかい 健康・福祉フェア（平成14年3月3日開催5000人集客）」の「こども手作りコーナー」に当会が協力団体として、堺市から招請を受けた（右図ポスター参照）。

フェアの「こども手作りコーナー」に堺SA会員20数名が協力参加して、堺市から高い評価を受けた。この後、毎年実施されるこのフェアに継続して参加要請を受けている。近年、一部の「支所まつり」にも参加している。

介護保険問題については、毎年、堺市介護保険課長のご講義を頂く機会を得ることができ、研鑽に励んだ。



健康さかい21 さかい 健康・福祉フェア
～いきいき楽しく健康づくり～

とき:平成14年3月3日(日) 午前10時～午後4時
ところ:堺市金岡公園体育館

入場無料

講演会
「ねたきりにならないための健康づくり」
ホームケアクリニック川崎 川越 厚さん
「つぶしのきく人間になろう」
ラント イーデス・ハンソンさん

和太鼓
一打一徹 (神奈川馬鹿さん、井上真実さん)
※オープニングと和太鼓クラブ彩との和太鼓の共演

市民参加イベント
東三国丘小学校器楽合奏など

主 催:さかい 健康・福祉フェア実行委員会 (堺市健康づくり推進市民会議/堺市)
協力団体:介護支援ネットワーク協議会・さかい/堺シルバード(バイザー)連絡協議会/(社)日本福祉用具供給協会近畿支部大阪ブロック
大阪社会福祉士会泉州地区

問い合わせ:保健衛生企画課 (☎228-7582) 介護保険課 (☎228-7513) 高齢福祉課 (☎228-8347)

左写真:こども手作り(おもちゃ)コーナーに参加した堺SAのみなさん

堺市社会福祉協議会との関係

先輩に借用の資料によれば、南海堺東駅頭において、平成9年には「赤い羽根共同募金」活動が既に行われていたが、堺市社会福祉協議会

への「ボランティア会員登録」を契機に、堺SAのボランティア活動が、各方面に急速に拡大した。

すなわち、「赤い羽根共同募金」活動が、今日まで毎年欠かすことなく受け継ぎ、継続して行われていることは言うまでも無く、加えて「ボランティアまつり」「さかい福祉まつり」などに、堺SA自らの参画は勿論、グループ・個人が積極的に参加することとなった。

堺SA会員は、堺市社会福祉協議会に会員登録している各種グループにも所属して、所属グループにおいても、それぞれ活動を続け、個人登録者も同様に活動している。

さらに、14期SAの有志を中心にして、「利用者支援ネットワーク準備機構」に、「受付相談員」として活動している事例がある。

所属ボランティア

泉久会 堺健康作りハートの会 シルバー交流会 カトレア会 歌体操「愛の会」 等々



社協ボランティアまつり
歌体操風景

堺市老人連合会との関係

堺市老人連合会は、平成13年より毎年1回、市内各校区老人会のリーダーに対して、「おもちゃ作り」「歌体操」の受講を推進している。堺SA会員が講師役を依頼されている。当会にとって大きな活動になっている。



赤い羽根街頭募金
平成15年堺東駅前



市老連主催 おもちゃ作り風景
平成17年2月福祉会館



社協ボランティアまつり
おもちゃ作り風景



市老連主催 歌体操風景
平成17年1月福祉会館

講者に好評を得た。



悠久会ベルタウン見学
施設の説明を聴く
現役受講生と共に

福祉施設との関係

平成12年より、毎年特別養護老人施設、福祉老人保健施設等の見学を積極的に実施している。堺SAとしてのボランティア活動はないが、会員個人・会員グループによるボランティア活動が行われてきた。会員同士が協力しあって、施設の要請に対応している。

すなわち、「福祉老人保健施設ソルヴィラージュ」「養護老人ホーム光明荘」がある。単発的な活動として、「堺あけぼの園夏祭り」「パル・茅淳の里餅つき」に、ボランティア参加し活動した。

福祉老人保健施設ソルヴィラージュには、平成11年秋から今日まで、5年以上に亘って年間数回行われるイベントに、施設の要請に応じて、常に堺SAの数人が、車椅子介助・話しかけ等のボランティア活動を継続実施している。同所では、これより以前から、折り紙、喫茶のボランティア活動も、グループ・個人で行われている。

施設見学も平成11年ごろから、毎年1回必ず実施している。見学先には、「福生園」「嘉齢荘」「フロイデンハイム」「光明荘」「故郷の家」「ソルヴィラージュ」「ベルタウン」がある。

見学は、堺SA会員・SA現役受講者（泉州地区在住者）が共同して行い、見学終了後「会員と受講者」が一堂に会して、感想・意見・要望等の交換を行ってきた。このことは、現役受

年度在籍会員数の推移

(平成)

年度	3	4	5	6	7	8	9	10	11
人員	9	47	53	55	52	55	49	49	46
年度	12	13	14	15	16				
人員	38	37	44	45	51				

運営・活動資金

堺SAの運営・活動資金は、会費、社協補助金（ボランティア登録後）、ボランティア助成金、その他補助金・助成金により運営・活動活動している。

堺市健康・福祉府フェア補助金、堺市老人連合会助成金、小学生おもちゃ作りボランティア助成金、その他依頼団体からの助成・補助金の交付を受けている。

堺市内小学校おもちゃ作り

平成15年から堺市立小学校児童に対するおもちゃ作り指導が行われてきた。登美丘小、少林寺小、茶山台小、登美丘西小等である。対象人数は、小学校によって50～200名と幅が大きい。指導に当たる会員数の問題もあり、総じて、対応が難しく課題も多かったと考えられる。



平成16年地域活動発表会
堺市福祉会館

SA連協との関係

前記したように、平成12年4月大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会堺支部から、堺シルバーアドバイザー連絡協議会（堺SA）に衣替えを行った。しかし、旧泉北地区のSAとして、「大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会（SA連協）会員」を継続している。

堺SAの三役が、SA連協の副会長などの役員に就任してきた。また、所定の代議員ならびに、専門委員を送って、SA連協の運営に関与している。

堺SAが当番になった2回の「地域活動発表会」の何れも積極的に協力して、高い評価も受けている。



平成14年地域活動発表会

堺市福祉会館

日韓両国の高齢者交流会に堺SAからもSA銭太鼓同好会の「銭太鼓」に、参画した。



大阪府老人総合センター3階大教室

銭太鼓出演者